

<References>

- 1.Mongolia Sustainable Development Vision 2030, 2016
- 2.Mongolia's 21st Century Sustainable Development Policy, 1998
- 3.Mongolia national report on sustainable development for the 18th session of the commission on sd, Ministry of Nature, Environment and Tourism of Mongolia, 2010
- 4.Mongolia Voluntary National Review Report 2019
- 5.Mongolia Voluntary National Review Report 2023
- 6.MDGs based Comprehensive National Development Policy, 2018
- 7.State Great Hural (Parliament) of Mongolia Resolution, 2015
- 8.The Global Risks Report 2025, 20th Edition Insight report, World Economic Forum
- 9.The United Nations Sustainable Development Cooperation Framework (UNSDCF 2023-2027), 2021
- 10.SDGs (Sustainable Development Goals) and TARGETS
- 11.Global Initiative for Information Integrity on Climate Change, 2024
- 12.Chadraa Batbayar, "The role of Mongolia for development of Northeast Asian Super Grid", The 3rd Northeast Asia Energy Security Forum, 2015
- 13.Xinhua news
- 14.Montsame news

北東アジアにおけるSDGsの達成に向けた モンゴルの役割(要旨)

モンゴル北東アジア安全保障戦略研究所所長 ドルジスレン・ナンジン

要 旨

モンゴルは、持続可能な開発目標(SDGs)に沿った共同プロジェクトに参加することで、北東アジア(NEA)における重要なパートナーとしての地位を強化してきている。SDGsは、持続可能な発展を実現するために国際的なパートナーシップの重要性を強調している。そのため、中国、日本、韓国、北朝鮮、ロシアを含む北東アジア諸国とのモンゴルの協力の歴史を検証し、モンゴルの「持続可能な開発ビジョン2030(SDV)」と「ビジョン2050」の目標を支援する科学、人道、文化交流に焦点を当てることが重要な課題となる。また、「SDG 17:目標のためのパートナーシップ」[1]は、持続可能な進展を達成するための国際協力の重要な役割を強調している。モンゴルは、ロシアと中国という2つの大国の間に位置する内陸国として、経済的・環境的課題に効果的に対処するために地域のパートナーと協力することの重要性を認識している。地理的位置と外交への歴史的な傾向から、モンゴルは北東アジアにおける仲介者・接続役として、経済的、社会的、環境的な目標を推進する国境を越えたプロジェクトを促進する上で、独自の役割を果たすことができる。本研究では、モンゴルが北東アジア諸国間の関係を強化する努力を強調しつつ、モンゴルの地域での持続可能な発展と経済発展に関する長期ビジョンにおいて、SDG 17が重要な役割を果たしていることを指摘している。

キーワード: 国際政治経済、国際関係、安全保障